

# 27年センター試験確定志願者数は、前年より 1,541人(0.3%)減の55万9,131人!

現役2年ぶり増加、既卒2年ぶり減少。現役志願率42.5%で過去最高

旺文社 教育情報センター 26年12月

大学入試センターはこの程、27年1月17・18日に実施される27年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は55万9,131人で、26年より1,541人(0.3%)減り、2年連続の減少となった。現役生は2年ぶりの増加となったが、既卒者は2年ぶりに大幅に減少。男子は2年連続減少、女子は前年の6年ぶり減少から一転、再び増加に転じた。

都道府県別では、全体で前年比0.3%減の中、埼玉の3.3%増を筆頭に16都道府県が増加した。23年3月の東日本大震災から3年半以上たった東北3県の出願状況は、福島3.0%減、岩手2.3%減、宮城1.6%減で、福島の減少率がやや大きい。

現役志願率は42.5%で、25・26年のそれまで最高の42.1%を更新して過去最高。

## ●志願者数 559,131人(560,672人；1,541人減、0.3%減)

### <内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 455,391人(443,318人；12,073人増、2.7%増)

○高校等卒業生(既卒者) 98,728人(111,914人；13,186人減、11.8%減)

○「高認」合格者・その他 5,012人(5,440人；428人減、7.9%減)

○現役志願率 42.5%(42.1%；0.4ポイント上昇)

### ○男女別

① 男子 313,850人<56.1%>(316,829人<56.5%>)

② 女子 245,281人<43.9%>(243,843人<43.5%>)

### ○都道府県別(出身高校等別による)

#### ① 志願者数が減少した主な県

香川(7.3%減)／熊本(6.5%減)／徳島(5.7%減)／和歌山(4.4%減)／島根(4.3%減)／山梨(3.7%減)／鹿児島(3.7%減)／長野(3.6%減)／佐賀(3.3%減)／山口(3.2%減)等

#### ② 志願者数が増加した主な都府県

埼玉(3.3%増)／石川(2.4%増)／広島(2.1%増)／愛知(1.8%増)／神奈川(1.4%増)／京都(1.4%増)／富山(1.2%増)／千葉(1.1%増)／東京(1.1%増)／群馬(1.0%増)等

#### ③ 現役志願率の高い主な都府県

東京(54.9%)／広島(53.0%)／愛知(52.3%)／富山(51.6%)／石川(49.8%)／山梨(47.3%)／新潟(46.1%)／島根(45.4%)／群馬(45.0%)／栃木(45.0%)／福岡(45.0%)等

### ○成績開示希望別

① 開示希望者 418,315人<74.8%>／② 開示を希望しない者 140,816人<25.2%>

注1. 都道府県別を除く( )内は、26年データ及び26年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

## 【特記】

### ① 志願者数

27年センター試験志願者数が前年より1,541人(前年比0.3%)減の55万9,131人と、2年連続減少した主な要因としては、次のような点が挙げられる。

- 27年3月の高卒者数は、今春に比べ約1万7,000人、1.6%増の約106万8,000人と推測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。
- 現役生の大学への進学志向を示す現役志願率は、23年(55.4%)～26年(54.9%)の4年連続で下降もしくは停滞(25・26年=54.9%)している。27年も進学志向が急激に高まることはないと思われるものの、前年並みの現役志願率が予測される。

一方、既卒のセンター試験志願者数は、前年増加した反動で大幅に減少した(後述)。

- 上記のような状況の下、高卒者増⇒現役志願者“増”と既卒志願者“大幅減”が相殺し、前年より“やや減少”(0.3%減)した結果になったとみる。
- 私立大のセンター試験利用は、参加大学数が前年よりやや増えたものの、センター試験利用入試の募集人員は頭打ち状態にあるとみられる。

なお、27年のセンター試験利用大学・短大は、公立・私立各2大学増の国公私立689大学/私立2短大増の公私立160短大である(26年12月初旬現在)。

### ② 現役志願率

平成2(1990)年のセンター試験(現役志願率15.0%)開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率は、23・24年の41.6%(同率)/25・26年の42.1%(同率)と、2度の“停滞状態”を経て、27年は42.5%に上昇して過去最高を更新した。

### ③ 現役生、既卒者の志願者数

- センター試験志願者の現役生は20年に減少したが、21年～23年は3年連続で増加。24年は4年ぶりの減少、25年は高卒者数の3年ぶりの増加などで2年ぶりに約2万人(4.6%)増の約46万人だった。26年は高卒者数の2年ぶりの大幅減などから、現役志願者は2年ぶりに前年より約1万7,000人(3.6%)減の約44万3,000人であった。

27年は、高卒者数の増加と大学現役志願率の前年並み予測などから、現役志願者数は2年ぶりに約1万2,000人(2.7%)増の約45万5,000人となった。

- 一方、既卒者は前年より約1万3,000人(11.8%)減の約9万9,000人で、前年の増加から一転し、2年ぶりの大幅な減少である。

既卒者の志願者が大幅に減少した背景としては、新課程を控えた今春の入試において、“後がない意識”から安全志向、慎重出願が強くはたらき、浪人回避の動きが例年以上に高まったことなどが挙げられる。

### ④ 高校等の学科別でみた出願状況

高校等の志願者(現役・既卒含む)の9割以上を占める普通科の志願者数は、前年より977人(0.2%)減の50万8,665人(構成比率91.8%)と、やや減少。一方、多くの学科が減少した中、商業科は2.0%増、その他の学科(農業・工業・理数・総合学科以外)は4.3%増。

### ⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

#### \* 志願者数：

東京が6万9,577人で例年どおり突出していて、これに愛知(3万8,272人)、神奈川(3万5,071人)、大阪(3万1,646人)、埼玉(3万102人)、千葉(2万4,608人)、兵庫(2万4,536人)、福岡(2万3,345人)と、26年とほぼ同様の顔ぶれ(26年の兵庫と千葉が入れ替わった)が続く。

今回、特に減少した人数が多かったのは、北海道(586人減)、熊本(493人減)、福岡(432人減)、長野(379人減)、香川(328人減)、鹿児島(283人減)など、地方が目立つ。

一方、増加した人数が多かったのは、埼玉(969人増)、東京(757人増)、愛知(666人増)、神奈川(481人増)、広島(311人増)、千葉(272人増)、静岡(143人増)、石川(142人増)、京都(139人増)、兵庫(133人増)など、都市圏が目立つ。

#### \* 現役志願率：

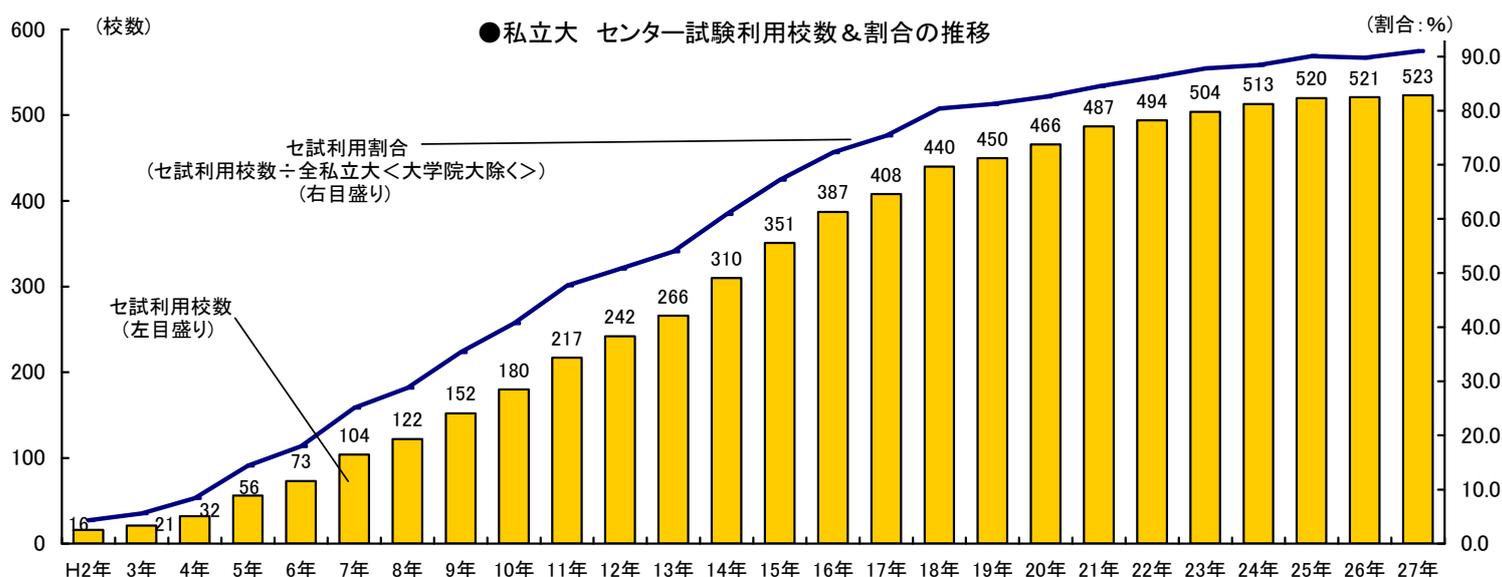
25年は24年まで9年連続首位をキープしていた富山が後退し、東京が首位に立ったことが注目された。

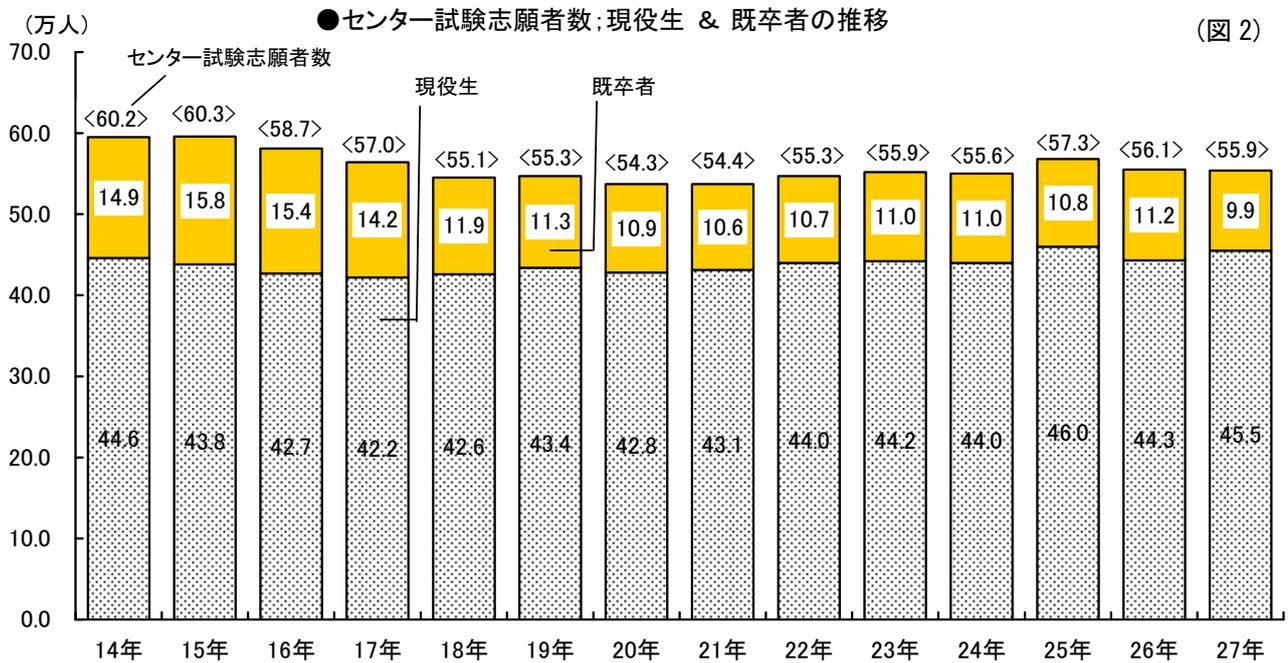
27年は、25・26年とも首位の東京(現役志願率54.9%)が3年連続で首位をキープし、これに2位広島(同53.0%)・3位愛知(同52.3%)以下、富山、石川、山梨、新潟、島根、群馬、栃木、福岡と、45%以上の高率が続いている。

### ⑥ 「2教科以下」志願者の割合、前年と同じ3.4%

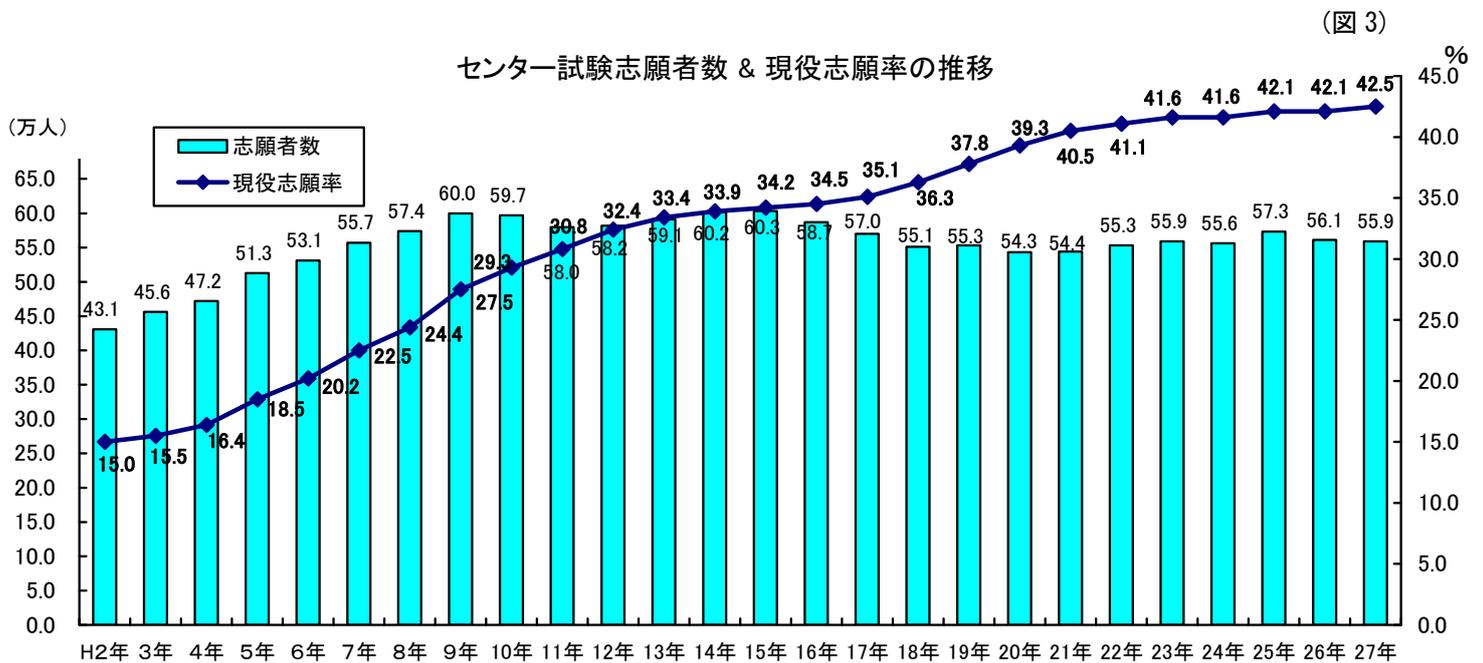
「2教科以下」志願者は、前年より37人(0.2%)減の1万8,815人で、全志願者に占める割合は前年と同じ3.4%である。

(図1)





注) 既卒者には、「高認」合格者等を含まない。セ試志願者数には、「高認」合格者等含む。



☆ 次ページに、「都道府県別 センター試験現役志願率 推移」の一覧を掲載。 ☆

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年	2年
1 北海道	33.5%	33.0%	33.0%	32.9%	32.9%	32.1%	31.3%	29.6%	27.6%	13.4%
2 青森	34.1%	33.8%	34.2%	33.7%	32.8%	32.8%	32.1%	31.9%	30.5%	14.5%
3 岩手	42.4%	42.0%	41.0%	41.7%	40.7%	39.3%	39.7%	37.3%	36.9%	15.8%
4 宮城	37.1%	36.6%	37.1%	35.3%	33.9%	33.7%	32.6%	31.0%	29.7%	11.7%
5 秋田	39.8%	39.3%	39.8%	40.1%	39.9%	39.4%	37.5%	35.8%	34.2%	13.9%
6 山形	38.1%	37.0%	37.0%	39.9%	38.7%	38.7%	38.3%	36.9%	35.5%	16.5%
7 福島	34.2%	33.9%	33.6%	31.9%	32.3%	32.2%	32.0%	29.7%	28.6%	12.7%
8 茨城	44.3%	43.4%	43.2%	42.9%	41.9%	43.2%	42.7%	40.1%	37.6%	11.9%
9 栃木	45.0%	43.7%	43.6%	43.3%	44.8%	44.1%	42.6%	41.4%	39.6%	13.1%
10 群馬	45.0%	44.9%	45.7%	45.7%	44.6%	44.4%	44.5%	43.6%	41.7%	13.9%
11 埼玉	44.1%	42.8%	42.6%	41.9%	42.6%	42.2%	41.2%	39.9%	38.5%	9.4%
12 千葉	40.2%	39.5%	39.7%	39.2%	39.5%	39.7%	39.0%	37.9%	36.0%	9.7%
13 東京	54.9%	53.7%	52.7%	51.3%	50.8%	48.8%	48.3%	46.9%	44.1%	11.8%
14 神奈川	43.0%	42.4%	42.6%	41.7%	41.5%	40.9%	40.2%	39.5%	37.7%	10.4%
15 新潟	46.1%	44.8%	43.5%	42.9%	42.6%	41.4%	42.2%	39.2%	38.9%	12.5%
16 富山	51.6%	51.0%	51.3%	51.7%	52.1%	50.8%	50.8%	50.3%	49.5%	27.7%
17 石川	49.8%	48.0%	48.6%	46.7%	48.0%	48.5%	47.5%	46.1%	45.0%	19.6%
18 福井	44.4%	43.9%	43.6%	43.5%	44.4%	45.4%	43.2%	44.7%	43.4%	22.7%
19 山梨	47.3%	47.5%	47.7%	48.4%	48.4%	48.2%	48.6%	45.6%	44.1%	13.8%
20 長野	41.9%	42.2%	42.8%	44.6%	44.0%	42.9%	42.1%	41.0%	39.0%	12.8%
21 岐阜	41.7%	41.0%	41.6%	40.0%	40.9%	40.7%	39.5%	40.1%	37.8%	18.3%
22 静岡	44.8%	44.7%	44.4%	44.6%	43.9%	43.8%	42.4%	41.4%	41.0%	13.8%
23 愛知	52.3%	51.5%	51.9%	51.4%	51.1%	50.5%	49.8%	48.6%	47.5%	21.2%
24 三重	39.3%	39.6%	40.1%	40.3%	41.0%	40.6%	39.1%	38.0%	37.7%	14.6%
25 滋賀	38.9%	39.7%	39.9%	39.8%	39.7%	40.4%	41.0%	39.8%	39.2%	12.8%
26 京都	34.6%	34.7%	34.7%	35.5%	36.0%	36.7%	36.4%	35.5%	35.3%	12.8%
27 大阪	32.1%	32.7%	32.5%	31.2%	31.7%	31.5%	31.8%	31.2%	30.5%	11.9%
28 兵庫	43.9%	42.9%	43.4%	43.1%	43.4%	43.0%	42.8%	42.0%	40.5%	16.4%
29 奈良	44.5%	43.7%	44.0%	43.1%	42.2%	43.9%	43.8%	42.0%	41.0%	15.5%
30 和歌山	33.0%	34.2%	33.2%	33.9%	34.4%	33.6%	34.1%	33.4%	32.6%	11.8%
31 鳥取	40.8%	42.5%	42.9%	43.2%	43.5%	42.9%	40.8%	39.3%	38.5%	21.2%
32 島根	45.4%	46.1%	45.7%	48.3%	46.4%	47.7%	44.7%	44.0%	43.3%	22.9%
33 岡山	40.1%	40.5%	41.3%	40.5%	40.2%	40.4%	39.8%	39.5%	38.6%	25.7%
34 広島	53.0%	51.8%	51.9%	51.6%	52.0%	50.3%	49.9%	49.3%	47.9%	17.6%
35 山口	35.9%	35.4%	37.4%	37.2%	37.4%	37.3%	35.8%	34.7%	34.5%	19.1%
36 徳島	42.4%	42.5%	44.1%	44.0%	46.3%	44.9%	44.3%	42.5%	40.2%	22.1%
37 香川	38.9%	41.5%	40.1%	40.4%	40.8%	41.7%	40.8%	40.8%	39.3%	20.9%
38 愛媛	44.5%	43.6%	43.4%	42.9%	43.1%	43.5%	43.0%	40.7%	40.7%	22.5%
39 高知	38.1%	37.9%	37.4%	36.4%	37.2%	35.7%	33.4%	34.4%	32.8%	14.4%
40 福岡	45.0%	45.3%	45.0%	44.8%	45.9%	44.3%	43.5%	41.6%	39.6%	19.3%
41 佐賀	40.9%	41.6%	41.4%	40.7%	40.3%	41.1%	41.2%	39.7%	38.8%	18.7%
42 長崎	38.2%	38.7%	38.6%	37.6%	37.8%	38.1%	36.5%	35.1%	34.0%	24.3%
43 熊本	35.7%	36.8%	36.1%	35.9%	35.9%	35.5%	34.0%	33.6%	31.4%	17.0%
44 大分	33.8%	33.4%	34.0%	33.4%	33.7%	34.5%	34.8%	33.0%	31.3%	22.6%
45 宮崎	37.3%	38.0%	37.9%	38.4%	38.3%	39.0%	38.8%	37.6%	36.4%	25.7%
46 鹿児島	37.3%	36.9%	37.6%	37.0%	37.3%	36.7%	35.9%	35.7%	33.8%	22.3%
47 沖縄	27.3%	27.1%	27.2%	27.8%	26.9%	24.6%	24.1%	24.5%	23.2%	14.9%
全国	42.5%	42.1%	42.1%	41.6%	41.6%	41.1%	40.5%	39.3%	37.8%	15.0%

- 注 ① 大学入試センター発表資料・文科省「学校基本調査」(26・27年＝速報値/それ以外＝確定値)より算出。  
 ② 現役志願率＝高等学校等新規卒業者における、セ試志願者の割合。  
 ③ 27年は卒業見込者(高等学校全日制3年・定時制4年・中等教育学校後期課程3年の在学者数計)。  
 ④ 2年はセンター試験初年度の値。